

振興部の

知っところ！神美

知っておいてほしい神美を紹介します。

神社紹介

【中嶋神社(三宅)】

中嶋神社 沿革

中嶋神社の創立は、田道間守命の7世の孫にあたる三宅の吉士、中嶋の公が、祖先の田道間守命を初めて此処に祀ったのに由来しています。

第41代持統天皇の時代にはさらに造営が行われたとされており、平安時代の延期式神名帳にも登録されています。応永年間に火災があつて社蔵の古文書その他を焼失しましたが、時の領主山名宮内少輔の発願によって再建されました。応永31年11月に工を起し正長元年(西暦1428年)8月に竣工しました。これが現在の本殿で、二間社流れ造という類例の少ない様式を持つ上に、彩色を施し、細部の絵様彫刻の精妙、複雑である点が、よく室町時代中期の特徴を示しています。

元禄13年には出石城主松平伊賀守が本殿を修復し、その後城主仙石久利は、社領三十四石九斗を寄進しました。明治維新となり社領は変換返還され、6年に村社、28年には郷社となり、45年には本殿が国宝に指定されました。

昭和に入ると境内を拡張し拝殿社務所を改築し、10年に県社となり15年より16年に亘つては、文部省の手により国宝建造物の修理が行われました。25年「文化財保護法」によって、本殿の「国宝」の名が「重要文化財」と改められました。

近年菓子業者の信仰により、七つの分社(2月号に掲載)が建設されました。

昭和44年には、境内を拡張し、45年には命の千九百年祭が行われました。又、この年には高松宮殿下がご参拝になりました。

昭和49年本殿の屋根葺替と塗装をなし、54年には大鳥居並びに参道を建設し、更に平成11年には大鳥居の塗替えを行いました。平成17年には本殿屋根の部分補修をし、現在に至っています。(神美コミュニティHPより)

但馬・神美の方言 わかるかな？

がっせー

意味：すごく

例：今朝の地震、がっせー揺れたな一。
(今朝の地震はすごく揺れましたね。)



いろいろな方言
知ってたら
教えてね！